

世界最高水準と 評価された 国民皆保険制度が、 いま揺れている。

国民皆保険

40兆円

1年間にかかった
医療費^{※1}

23兆円

1年間にかかった
高齢者医療費^{※1}

7.9兆円

サラリーマンが
1年間に負担する
高齢者医療への
拠出金^{※2}

46%

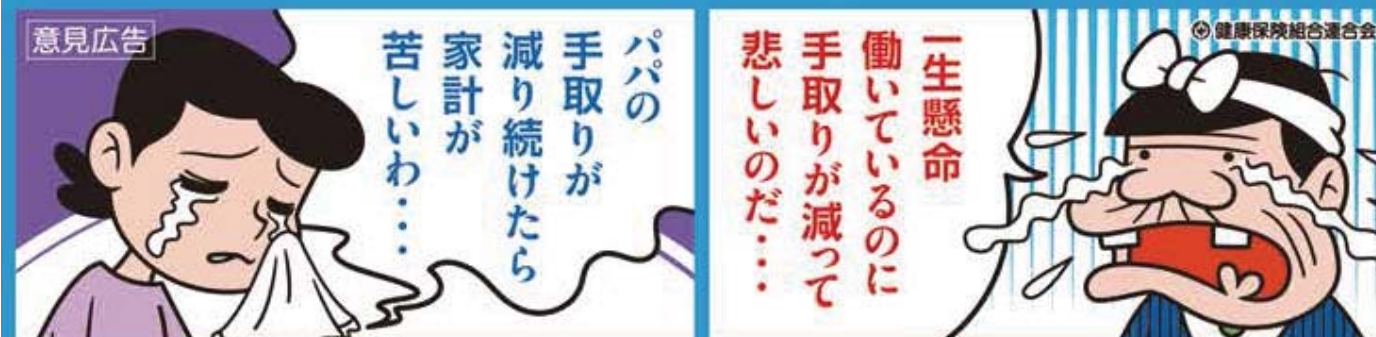
健康保険料から
高齢者医療に
拠出している割合^{※2}3,300
万人高齢者人口^{※3}7,800
万人制度に苦しむ
現役世代人口^{※3}

健康保険料の4割強を高齢者医療に拠出する。
現役世代への負担はもはや限界を超えています。

国民医療費は毎年1兆円規模で増え続け、いまや年間40兆円^{※1}。
とりわけ、高齢者医療費の増加は歯止めがきかず、現役世代の拠出金は増すばかり。
現役世代への過度の依存はもう限界です。
WHO（世界保健機関）から「世界最高水準」と評価された国民皆保険制度が、
いま崩壊の危機に瀕しています。国民は、黙って見ているしかないのでしょうか。
健保組合・健保連は求めます。消費税率10%への引き上げによって生まれる税財源を、
高齢者医療制度に投入するなど、より踏み込んだ「負担構造改革の実現」を。
健康づくりの推進、適切な医療提供体制の見直しなどによる「医療費適正化の推進」を。
本年には「日本健康会議」が発足。健康寿命の延伸のため、
経済界・医療界・自治体・学会・健保組合等の保険者が一丸となった取り組みが始まりました。
世界に誇れる国民皆保険制度を、未来の日本に残していくために、
健保組合・健保連は、強く訴え、活動してまいります。

※1 高齢者は65歳以上、現役世代は15～64歳。
※2 厚生労働省「平成24年度 国民医療費の概況」より、平成23年度国民医療費40兆6,600億円、
うち高齢者医療費18兆7,000億円、現役世代医療費21兆9,600億円、健康保険料に占める高齢者医療費46%。
※3 内閣府「平成27年度 高齢社会白書」より

健保組合・健保連は訴えます。高齢者医療費の負担構造改革と、医療費適正化の推進を。



その原因は
高齢者
医療費の増大
などによる
健康保険料の
値上がりかも
しれないよ！



健康保険。 これではよくないのだ!!



健康保険料のうち、実に43.8%が高齢者医療を支えるために拠出されています。現役世代の負担は限界です。
健保組合・健保連は、過度に現役世代の負担に依存しない医療保険制度の実現を国に求めています。

- ① 皆保険制度を守るために、高齢者医療費の負担をすべての世代で分かち合い、持続可能で納得できる公平な仕組みを構築するべきです。
- ② 限りある医療資源を活用するために、国民全体で医療費の効率化に向けた取り組みを積極的に進めるべきです。



健康保険をなんとかしたい!

その声をぜひ、WEBサイトにお寄せください!

www.ashiken-p.jp

あしたの健保

健康保険。みらいのために、今、変えよう。

あしたの健保プロジェクト

健保組合は、約3,000万人のサラリーマンとその家族の健康を守っています。健康保険組合連合会（健保連）〒107-8556 東京都港区南青山1丁目24番4号は、全国1,400余りの健保組合の連合組織です。